

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成28年12月1日(2016.12.1)

【公開番号】特開2015-176210(P2015-176210A)

【公開日】平成27年10月5日(2015.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2015-062

【出願番号】特願2014-50154(P2014-50154)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

A 63 B 69/00 (2006.01)

A 63 B 71/06 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 360Z

G 06 F 17/30 220Z

A 63 B 69/00 C

A 63 B 71/06 J

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月11日(2016.10.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

時間を特定の指標として含む、又は、時間の経過に対応して増加する事象を特定の指標として含む、複数の指標の時系列データを蓄積するデータベースと、

前記時系列データに基づく解析グラフを作成する演算回路部と、

を備え、

前記演算回路部は、

前記解析グラフの第1の軸を、前記複数の指標から前記特定の指標を除いたなかから選択された第1の指標に設定し、

前記解析グラフの第2の軸を、前記複数の指標のうちの、前記第1の指標と異なる第2の指標に設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標であるか否かに基づいて、前記解析グラフの種類を設定することを特徴とするデータ解析装置。

【請求項2】

前記演算回路部は、

前記第2の指標が前記特定の指標である場合には、前記解析グラフの種類を、前記第1の指標の時間の経過に対する変化を示す第1の種類のグラフに設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標と異なる場合には、前記解析グラフの種類を、前記第1の指標と前記第2の指標との相互の相関関係を示す第2の種類のグラフに設定することを特徴とする請求項1に記載のデータ解析装置。

【請求項3】

前記演算回路部は、

前記第2の指標が、前記複数の指標から選択されていないとき、前記第2の指標を前記特定の指標に設定して、前記解析グラフの種類を前記第1の種類のグラフに設定することを特徴とする請求項2に記載のデータ解析装置。

**【請求項 4】**

前記第1の種類のグラフ及び前記第2の種類のグラフは、予め設定された既定の種類のグラフであることを特徴とする請求項2又は3に記載のデータ解析装置。

**【請求項 5】**

設定情報が入力される入力操作部を有し、

前記演算回路部は、前記第1の種類のグラフ及び前記第2の種類のグラフは、前記入力操作部に入力される前記設定情報に応じて任意の種類のグラフに設定可能であることを特徴とする請求項2又は3に記載のデータ解析装置。

**【請求項 6】**

前記演算回路部は、

前記第1の種類のグラフ又は前記第2の種類のグラフを作成する第1モードと、前記第1の種類のグラフ及び前記第2の種類のグラフ以外のグラフを作成する第2モードとを有し、

前記入力操作部から入力される前記設定情報に応じて、前記第1モード及び前記第2モードのいずれを実行するかを変更可能であることを特徴とする請求項2乃至5のいずれかに記載のデータ解析装置。

**【請求項 7】**

前記時系列データは、人体の移動を伴う運動時に収集された運動状態に関わる各種の運動データであり、

前記特定の指標は、前記運動時の経過時間又は前記運動時の移動距離であることを特徴とする請求項1乃至6のいずれかに記載のデータ解析装置。

**【請求項 8】**

時間を特定の指標として含む、又は、時間の経過に対応して増加する事象を特定の指標として含む、複数の指標の時系列データを蓄積し、

前記時系列データに基づく解析グラフを作成し、

前記グラフを作成する際に、

前記解析グラフの第1の軸を、前記複数の指標から前記特定の指標を除いたなかから選択された第1の指標に設定し、

前記解析グラフの第2の軸を、前記複数の指標のうちの、前記第1の指標と異なる第2の指標に設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標であるか否かに基づいて、前記解析グラフの種類を設定することを特徴とするデータ解析方法。

**【請求項 9】**

前記解析グラフの種類を設定する際に、

前記第2の指標が前記特定の指標である場合には、前記解析グラフの種類を、前記第1の指標の時間の経過に対する変化を示す第1の種類のグラフに設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標と異なる場合には、前記解析グラフの種類を、前記第1の指標と前記第2の指標との相互の相関関係を示す第2の種類のグラフに設定することを特徴とする請求項8に記載のデータ解析方法。

**【請求項 10】**

前記グラフを作成する際に、

前記第2の指標が、前記複数の指標から選択されていないとき、前記第2の指標を前記特定の指標に設定して、前記解析グラフの種類を前記第1の種類のグラフに設定することを特徴とする請求項9に記載のデータ解析方法。

**【請求項 11】**

コンピュータに、

時間を特定の指標として含む、又は時間の経過に対応して増加する事象を特定の指標として含む、複数の指標の時系列データを蓄積させ、

前記時系列データに基づく解析グラフを作成させ、

前記グラフを作成する際に、

前記解析グラフの第1の軸を、前記複数の指標から前記特定の指標を除いたなかから選択された第1の指標に設定し、

前記解析グラフの第2の軸を、前記複数の指標のうちの、前記第1の指標と異なる第2の指標に設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標であるか否かに基づいて、前記解析グラフの種類を設定させることを特徴とするデータ解析プログラム。

【請求項12】

前記解析グラフの種類を設定させる際に、

前記第2の指標が前記特定の指標である場合には、前記解析グラフの種類を、前記第1の指標の時間の経過に対する変化を示す第1の種類のグラフに設定させ、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標と異なる場合には、前記解析グラフの種類を、前記第1の指標と前記第2の指標との相互の相関関係を示す第2の種類のグラフに設定させることを特徴とする請求項11に記載のデータ解析プログラム。

【請求項13】

前記グラフを作成する際に、

前記第2の指標が、前記複数の指標から選択されていないとき、前記第2の指標を前記特定の指標に設定して、前記解析グラフの種類を前記第1の種類のグラフに設定させることを特徴とする請求項12に記載のデータ解析プログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係るデータ解析装置は、

時間を特定の指標として含む、又は、時間の経過に対応して増加する事象を特定の指標として含む、複数の指標の時系列データを蓄積するデータベースと、

前記時系列データに基づく解析グラフを作成する演算回路部と、  
を備え、

前記演算回路部は、

前記解析グラフの第1の軸を、前記複数の指標から前記特定の指標を除いたなかから選択された第1の指標に設定し、

前記解析グラフの第2の軸を、前記複数の指標のうちの、前記第1の指標と異なる第2の指標に設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標であるか否かに基づいて、前記解析グラフの種類を設定することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係るデータ解析方法は、

時間を特定の指標として含む、又は、時間の経過に対応して増加する事象を特定の指標として含む、複数の指標の時系列データを蓄積し、

前記時系列データに基づく解析グラフを作成し、

前記グラフを作成する際に、

前記解析グラフの第1の軸を、前記複数の指標から前記特定の指標を除いたなかから選択された第1の指標に設定し、

前記解析グラフの第2の軸を、前記複数の指標のうちの、前記第1の指標と異なる第2

の指標に設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標であるか否かに基づいて、前記解析グラフの種類を設定することを特徴とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明に係るデータ解析プログラムは、

コンピュータに、

時間を特定の指標として含む、又、は時間の経過に対応して増加する事象を特定の指標として含む、複数の指標の時系列データを蓄積させ、

前記時系列データに基づく解析グラフを作成させ、

前記グラフを作成する際に、

前記解析グラフの第1の軸を、前記複数の指標から前記特定の指標を除いたなかから選択された第1の指標に設定し、

前記解析グラフの第2の軸を、前記複数の指標のうちの、前記第1の指標と異なる第2の指標に設定し、

前記第1の指標及び前記第2の指標が前記特定の指標であるか否かに基づいて、前記解析グラフの種類を設定させることを特徴とする。